保存版 川崎市

津波ハザードマップ

地震！そのとき

身を守る

情報を確認

Colors, Future! いろいろ、ある。 川崎市

家族の連絡先 ※日中の連絡先・方法

名前	避難場所	電話番号	日中連絡先	血液型	生年月日

各ご家庭での備え

避難場所では、必要な物がすぐに手に入るとは限りません。
また、ライフラインが停止する中、数日間自宅で生活する事態も十分考えられます。下記を参考に、非常持出品や家庭備蓄を用意し、持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

非常持出品［一次持出品］

水・食料	□飲料水　□携行食・非常食 ※ビスケット・缶詰など □粉ミルク・離乳食
医療・衛生	□服用している薬　□救急医療品　□生理用品 □歯ブラシ・口腔ケア用品　□マスク　□ほ乳瓶　□アルコール消毒液
貴重品	□現金　□印鑑　□健康保険証・預金通帳 ※コピー可
安全対策	□ヘルメット・防災ずきん　□厚底の靴　□軍手
道具類	□携帯電話・充電器　□携帯ラジオ　□懐中電灯　□電池　□時計 □携帯カイロ　□ロープ　□ライター・マッチ　□缶切り □ナイフ　□入れ歯・眼鏡
衣類	□上着（防寒着）・下着・靴下　□携帯レインコート
生活用品	□ウエットティッシュ・ティッシュ　□タオル　□ゴミ袋・ポリ袋　□オムツ

家庭備蓄［二次持出品］

飲料水	□飲料水（1日1人あたり3リットルが目安）
非常食	□お米や乾麺、缶詰など、日持ちのするものをなるべく多く用意しておく。
調理器具	□カセットコンロ・カセットボンベ　□アルミホイル □簡易食器（紙皿・スプーンなど）　□食品用ラップ
生活用品	□簡易トイレ・汚物処理袋　□トイレットペーパー □新聞紙・ビニール袋　□寝袋・衣類など　□ドライシャンプー
その他	□車のガソリンを満タンにしておく ※不要不急な給油を避けることや、緊急車両の優先給油への協力にもなる。

「川崎市津波ハザードマップ」
発行・企画：川崎市総務企画局危機管理室　〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地　☎044-200-2842　FAX 044-200-3972
制作：東京カートグラフィック株式会社　川崎市ホームページ http://www.city.kawasaki.jp

津波の基礎的な知識

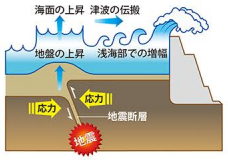
はじめに

この津波ハザードマップは、神奈川県が公表した『津波浸水予測図』の中から、川崎市に最大の津波被害をもたらす「慶長型地震」の津波浸水予測を表示した地図です。

このマップで、自分の家や学校・職場を確認し、津波が発生したときのために、あらかじめ津波避難施設や3階建て以上の鉄筋コンクリート造等の頑丈な建物への避難経路を確認しておきましょう。

津波とは

海底で発生した地震に伴う海底地盤の隆起・沈降や地すべりなどにより、海水が上下に変動することで引き起こされる、エネルギーが大きい波のことです。海で地震が発生した場合、揺れによる被害のほか、平成23年（2011年）3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震のように、津波の発生により、海岸沿いだけではなく、河川を遡上して、広い範囲で甚大な被害をもたらす可能性があります。



津波の特徴

- 繰り返し襲ってきます。到達する高さは、第1波よりも第2波以降が最大となる場合があります。津波警報や大津波警報・津波注意報が解除されて、安全が確認されるまで、注意が必要です。
- 水深が浅くなると、津波は急に高くなります。
- 津波の前には引き潮が起こると言われていますが、地震の発生の仕方によっては、いきなり大きな津波が押し寄せることもあります。
- スピードは速く、沖合ではジェット機に匹敵する速さで伝わり、陸に近づくと速度は遅くなります。陸に遡上してからは自動車と同じくらいの速度で押し寄せるので、津波が海岸に近付くのを見てから避難を始めては間に合いません。

ハザードマップの想定津波

- 川崎市では、「最大クラスの津波」として「慶長型地震」を選定しています。『最大クラスの津波」とは、発生頻度はきわめて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波です。

対象地震	慶長型地震
川崎港で予測される最大津波高(注)	約3.71m
最大津波高時の津波のみの高さ	約2.81m
川崎市内の浸水深	浅野町の一部ほか 2～3m、その他の地域 2m以下
川崎港への最大津波高の到達予想時間	約96分
川崎市内浸水面積	約18.3km²(川崎区の約45%)

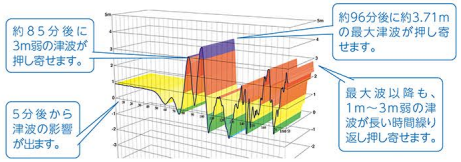
（注）
川崎港の潮位が朔望平均満潮位（大潮時の平均満潮水位：東京湾平均海面（T.P)+0.9m）時の高さにあると仮定した場合の津波高（0.90m+2.81m=3.71m）

慶長地震とは

1605年（慶長9年）に発生し、地震被害の記録は、兵庫県・淡路島のお寺の建物が倒れただけですが（推定震度4以下）、大きい津波が発生したと言われています。

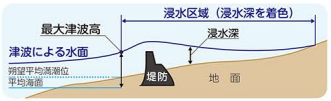
想定地震による津波の高さと到達時間（川崎港）

慶長型地震による津波は、地震が発生しておよそ80分から90分後に、最大で高さ3m程度の津波が到達し、その後、少しずつ弱まりながら、数十分おきに繰り返し津波が到達すると予想されています。



津波浸水予測図

地震による津波が陸上に到達した場合の浸水する陸域の範囲、浸水深等を予測した図です。



津波の浸水予測は想定となりますので、予測よりも大きい津波が起こり、浸水範囲が広がる可能性があります。状況により、さらに広い地域が浸水することもありますので、注意しましょう。

- **浸水深**
  陸地が浸水した時に、陸上のある地点で水面が最も高い位置に達した時の地面から水面までの高さです。なお、河川敷内も表示方法は同じです。
- **最大津波高**
  満潮の水位が最も高い大潮で津波が到達した場合の、海岸線の平均海面から最大の津波高です。
- **浸水区域**
  陸域における浸水する範囲を深さごとに色分けしてます。

安全に避難するためには

早めに避難準備を進めましょう ☑確認ができた項目にはチェックをお入れください

□ **自宅などの確認**
- 自分の家や学校・職場を地図で確認しましょう。
- 想定される浸水深や海抜は、川崎区内の道路照明、市立学校や警察署、交番などの公共施設、町内会・自治会の掲示板などに掲示していますので確認しましょう。

□ **津波避難施設や避難場所の確認**
- 川崎市では現在、109箇所（令和3年（2021年）3月末現在）の津波避難施設や避難場所があります。
- 自宅や、よく行く場所から近い場所を日頃から確認しましょう。

□ **避難経路の確認**
- 地図で安全な避難経路や危険な場所を確認しましょう。
- 住宅の密集した路地は、瓦の落下や塀が倒壊する危険性があり、避難時に注意が必要です。
- 海の近くはもちろん、川沿いのエリアは浸水予測区域でなくても浸水する可能性があります。
- 崖の近くは地盤が崩れる可能性があります。

□ **地域の助け合い**
- 災害による被害を軽減するためには、一人ひとりの災害への心掛けと地域で行う防災対策が大切です。地域に住む人たちで、将来起こるであろう災害に向けて準備し、協力する体制を作りましょう。

津波から避難する

□ **津波警報や大津波警報・津波注意報が発表されたら**
- ただちに海や川から離れ、津波浸水予測区域外または津波避難施設等へ避難しましょう。
- 感染症対策等や発災後の衛生環境等も考慮した持出品を持参しましょう。
- 津波避難施設に着いたら、誘導標識を確認し、安全な高さまで避難しましょう。
- 原則として、避難する際は車を使わず、徒歩で避難しましょう。
- 一度だけでなく何度も襲ってくる可能性があります。津波警報や大津波警報・津波注意報が解除されるまで元の場所へ引き返さないようにしましょう。
- 避難する際は、大声で周囲の人達に呼びかけましょう。また、小さな子どもや高齢者の手を引いて逃げるなど、助け合いをしましょう。

種類	発表基準	発表される津波の高さ：数値での発表（津波の高さ予想の区分）	発表される津波の高さ：巨大地震の場合の発表
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超(10m<予想高さ)	巨大
		10m(5m<予想高さ≦10m)	
		5m(3m<予想高さ≦5m)	
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m(1m<予想高さ≦3m)	高い
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m(0.2m≦予想高さ≦1m)	(表記しない)

□ **避難勧告・指示等が発令されます**
- 津波浸水予想地域の浸水深に応じて、次のとおり避難勧告・指示を発令しますので、臨海部の沿岸及び川崎区・幸区・中原区の多摩川の河川敷にいる人達はただちに避難してください。

発令内容	避難勧告・指示の発令基準
避難勧告	津波浸水予想が、0～50センチメートル未満になる地域
避難指示	津波浸水予想が、50センチメートル以上になる地域

※今後、避難情報が変更される可能性があります。詳しくは、HP等で御確認ください。

□ **情報収集をしましょう**
- 防災行政無線・ラジオ・テレビ・携帯電話・インターネットなどから正しい情報を入手しましょう。

（参考）発生確率の高い地震

【南海トラフ地震】
- 今後30年以内に70～80%の確率で発生可能性がある南海トラフ沿いの巨大地震（M8～9クラス）が起こった場合、川崎市内で想定される震度は5強、津波高は最大（M9）クラスの地震で最大3m（満潮位からの高さ、地殻変動による地盤の隆起・沈降を考慮）、津波到達想定時間（津波高が1mとなる時間）は、最短で80分後です。

【首都直下地震（都心南部直下を震源とする地震）】
- 今後30年以内に70%程度の確率で発生可能性があるM7クラスの首都直下地震のうち、神奈川県に影響が大きい都心南部直下を震源とする地震が起きた場合には、川崎市で想定される震度は6強、津波は神奈川県内で最大1mと想定されます。

（参考）相模トラフ沿いの最大クラスの地震による津波

災害時の情報収集方法

情報収集ツール

〈メールニュースかわさき「防災気象情報」〉

登録したメールアドレス宛てに防災気象情報が配信されます。

空メール（件名及び本文は不要）を送信する。

t-kawasaki@sg-p.jp

ご利用上の注意
- 情報配信料は無料ですが、通信費（パケット料）は本サービス登録者の負担になります。
- ドメイン指定受信等の迷惑メール対策をしている場合、このサービスがご利用できない場合があります。
- URLリンク付きメールの受信拒否を設定している場合は、設定を解除してください。

「kawasaki@sg-p.jp」及び「t-kawasaki@sg-p.jp」が受信できるように設定の確認をお願い致します。

〈川崎市危機管理室」公式 Twitter（ツイッター）〉

アカウント kawasaki_bousai
URL https://twitter.com/kawasaki_bousai

〈川崎市 LINE 公式アカウント〉

ライン ID: @kawasakicity
ご利用上の注意
・御利用にはSNSアプリ「LINE」へのアカウント登録が必要です。
・御利用は無料ですが、通信料等は利用者の負担となります。

〈川崎市防災ポータルサイト URL〉

http://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/

〈かわさき防災アプリ URL〉

洪水、土砂災害、津波などの危険区域を地図に示したハザードマップを確認できる他、各種災害情報をリアルタイムに受信でき、発令中の避難情報や避難所開設情報を地図で確認できます。

https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000111816.html

またはアプリストアで
かわさき防災アプリ　検索

ご利用上の注意：
機種や環境によっては動作しない場合があります。

〈川崎市 防災気象情報 URL〉

川崎市に関する防災気象情報を提供します。

http://www.micosfit.jp/kawasakicity/

防災行政無線

災害時等に、防災気象情報をお知らせするため、防災行政無線の屋外受信機（スピーカー）を設置してます。なお、放送内容は「防災テレホンサービス」により電話で聞くことができます。

〈防災テレホンサービス〉

神奈川県内の一般加入電話、公衆電話及び一部のIP電話 **0120-910-174（通話料無料）**
携帯電話、神奈川県外の一般加入電話・公衆電話など**044-245-8870**（通常の通話料金がかかります）

テレビ・ラジオ

- 地上デジタル放送・ワンセグ放送（テレビ神奈川）
- ケーブルテレビ（イッツコム、YOU テレビ、ジェイコム）
- かわさき FM 79.1MHz

緊急速報メール

- 携帯電話やスマートフォンなどに、緊急地震速報や津波警報、災害・避難情報などを一斉に配信します。
- 受信するための事前登録は不要で受信料もかかりません。

安否情報確認 災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板

〈災害用伝言ダイヤル（171）〉

災害発生時に、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供されます。

利用の方法

伝言の録音　①⑦① にダイヤルする ▶ ガイダンスが流れる ▶ 録音の場合 ① ▶ ガイダンスが流れる ▶ 市外局番からダイヤル (044)XXX-XXXX

伝言の再生　①⑦① にダイヤルする ▶ ガイダンスが流れる ▶ 再生の場合 ② ▶ ガイダンスが流れる ▶ 市外局番からダイヤル (044)XXX-XXXX

〈災害用伝言板〉

自分自身の安否情報を携帯電話により登録、また、家族や友人などの安否情報を携帯やパソコンなどで確認することが出来ます。

SNSやインターネットを使用した通話

LINE（ライン）、Twitter（ツイッター）、Facebook（フェイスブック）などのSNSでお互いの安否を知らせましょう。また、通常の電話は混雑で使用できなくなりますが、インターネットを使用したスマートフォンのアプリは比較的容易に通話ができます。

1 神奈川県は、最大クラスの津波として、相模トラフ沿いの最大クラスの地震による津波を含む浸水予測図を見直し、「津波防災地域づくりに関する法律」に基づく「津波浸水想定」を平成27年3月に公表しました。
相模トラフ沿いの最大クラスの地震による津波（M8.7）
（1）発生間隔：2千年から3千年もしくはそれ以上
（2）最大津波高：約2.9m（津波のみの高さは、約2.0m）
（3）最大津波高到達予想時間：約134分
（4）浸水面積：約32.9km²

2 川崎市では、発生間隔や対策の継続性を考慮して、「慶長型地震による津波」への対策を継続します。

※現在、「津波災害警戒区域」は未指定です。

※「慶長型地震による津波」と比較して最大津波高は低いですが、地盤が約1m沈降を前提にしているため、浸水面積が拡大します。